

柏原赤十字病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年12月 策定

【柏原赤十字病院の基本情報】

医療機関名：柏原赤十字病院

開設主体：日本赤十字社

所在地：丹波市柏原町柏原259-1

許可病床数：99床

（病床の種別）

一般病床 95床、感染症 4床

（病床機能別）

一般病床 72床

地域包括 23床

稼働病床数：99床

（病床の種別）

一般病床 95床、感染症 4床

（病床機能別）

一般病床 72床

地域包括 23床

診療科目：内科・呼吸器内科・糖尿病内科・消化器内科・小児科（休診中）・外科
脳神経外科（休診中）・整形外科・婦人科・放射線科・リハビリテーション科
眼科・歯科口腔外科

職員数：127人（常勤）

- ・ 医師：7人
- ・ 歯科医師：1人
- ・ 看護職員：52人
- ・ 専門職：37人
- ・ 事務職員：19人
- ・ その他：11人

【1. 現状と課題】

①丹波圏域の現状と課題

平成28年10月に策定された兵庫県の地域医療構想における丹波圏域の現状と課題は以下のとおりである。

1 人口動態

・総人口は2010年の11.1万人から2025年には9.5万人(2010年比△14%)へと減少、15歳から64歳の生産年齢人口は2010年の6.4万人から2025年には5.0万人(2010年比△22%)へと減少、いずれも2025年以降も更に減少することが見込まれる。・一方、75歳以上人口は2010年の1.8万人から2025年には2.1万人(2010年比+17%)へと増加するが、その後は減少することが見込まれる。

2 入院受療状況

・2025年推計によると、圏域内完結率は76%であり、高度急性期及び急性期については、消化器系疾患、心筋梗塞、頭部外傷などの救急体制の不足から、圏域内在住者が阪神北・北播磨圏域のほか、京都府での受療が見込まれる。
・一方、慢性期においては、圏域内の医療機関に但馬圏域・京都府在住者からの受療が見込まれる。

3 医療提供体制

・丹波医療圏域においては、県立柏原病院と柏原赤十字病院が統合し、両病院の機能を活かした医療体制での新病院が平成31年度に開設(320床)予定(以下「新病院」という)である。
・新病院での医療提供体制については、高度急性期、急性期、回復期、慢性期、それぞれの医療需要に対応できるよう、機能が盛り込まれており、同時に丹波市健康センターミルネ(通称)が整備されることで、医療の分野だけでなく介護、健康、福祉などの分野とも包括的に運用される。
・必要病床数推計による慢性期病床は339床であり、現行稼働病床数468床と比較して129床が過剰となるが、療養型病床は常に満床に近い稼働率で待機患者が発生するなど、圏域でのニーズが高い状況にあることから、まず、在宅医療の提供体制を整備していく必要がある。

4 不足している入院医療機能

・主に三次救急、がん(肺・肝)、心疾患、脳疾患、ハイリスク分娩、重症児の入院医療機能が不足していることから、これらの機能について新病院における機能充実や圏域内又は隣接圏域の病院間連携の強化が必要である。

5 在宅医療需要の増加

・2025年の医療需要推計によると、在宅療養を必要とする患者数は、2013年の1,063人/日から2025年には1,402人/日に増加する見込みである。
このうち、現在、圏域内にある介護老人保健施設376床分を差し引いた1,026人/日分が、在宅等で訪問診療を要する患者数の最大値と推定される。2013年の在宅等で訪問診療を要する患者数504人/日と比較すると、2025年には現在より522人/日分の在宅医療の供給増が必要である。

6 在宅医療の提供体制

・2015年9月に篠山市医師会、丹波市医師会と共同で実施した在宅医療に関するアンケート調査によると、①現在在宅医療を行っている医師の高齢化に伴い、2025年には在宅医療実施機関数が減少する、②夜間往診に対応できる診療所が減少する、といった課題がある。

7 圏域の医師、歯科医師、薬剤師、看護師の高齢化が進んでおり、現状の体制維持が困難

となる。

8 地域医療を担う若手医師の育成が必要である。

②自施設の現状

柏原赤十字病院は、以下の基本方針をもとに地域に密着したかかりやすい病院として生活習慣病の総合診療や救急輪番制への参加、健診センターによる予防医療の提供、さらに地域包括ケア病床の設置や付帯の訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所による地域の医療福祉施設との連携による在宅療養支援を行ってきているが、平成 27 年 2 月に策定された「兵庫県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画」に基づき、新施設の整備完了予定の平成30年度末で閉院することとしている。

(参考)

ア 当院の理念、基本方針

(ア)理 念

私たちは、赤十字精神に基づき、患者中心の医療を、包括的、継続的、かつ、効率的に提供し、安心で安全な地域社会に貢献します。

(イ)基本方針

1. 柏原赤十字病院は、市民の病院として医師会、行政と共に、住民が抱える一般的な健康問題に対処し、かつ、継続的なパートナーシップを築き、家族及び地域という枠組みの中で、総合性と受診のしやすさを特徴とするヘルスケアサービスを提供します。
2. 医療人として自己研鑽に励み、安全な医療の実践に努めるとともに、患者さんの人権と意思を尊重し、チーム医療に心がけ活力ある病院づくりに努めます。
3. 赤十字として救急医療並びに災害時の医療救護活動に貢献します。

イ診療実績（平成28年度）

(ア)入院基本料	10対1
(イ)平均在院日数	17.7日
(ウ)病床稼働率	70.8%
(エ)外来延患者数	34,751人
(オ)入院延患者数	25,597人

ウ職員数

(職種別)

職種	平成 29 年 4 月 1 日現在			
	正職員	常勤嘱託	非常勤	合計
医師	5	2	41	48
歯科医師	1	0	3	4
薬剤師	6	0	0	6
臨床検査技師	6	0	0	6

診療放射線技師	3	0	0	3
理学療法士	6	0	0	6
作業療法士	1	0	0	1
言語聴覚士	1	0	0	1
管理栄養士	1	0	0	1
栄養士	0	0	1	1
歯科衛生士	3	1	0	4
視能訓練士	1	0	0	1
臨床工学技士	0	0	0	0
保健師	2	1	0	3
看護師	38	6	13	57
准看護師	7	1	2	10
事務員	16	3	15	34
ボイラー技師	0	0	0	0
業務員	1	0	1	2
看護助手	10	0	2	12
調理師	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0
介護支援専門員	1	0	0	1
社会福祉士	4	0	0	4
合計	113	14	78	205

エ特徴 各種専門外来
健診事業(人間ドック)
訪問看護ステーション
指定居宅介護支援事業所
NST稼動施設認定
在宅療養支援病院
へき地医療拠点病院
地域包括ケア病床

③自施設の課題

統合再編に伴い平成30年度末をもって閉院となることから、当院がこれまで担ってきた医療、在宅・訪問看護・健診棟の機能を的確に統合新施設に継承する必要がある。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

【平成30年度のみ】

- ・ 外科手術、救急対応など一部の急性期対応と、統合新施設に引き継ぐ地域包括ケア病床などの回復期機能及び予防医療、訪問看護ステーション事業を中心にした運営とし、統合新施設の整備及び運用計画策定に引き続き参画する。
- ・ なお、段階的な閉院として一病棟体制（59床：一般病床36床、地域包括ケア病床23床）とする。
- ・ 第二種感染症指定医療機関として、感染病床（4床）を維持し、二類感染症患者等に対応する。
- ・ 赤十字として災害時の医療救護活動及び普及啓発事業を行う。

② 今後持つべき病床機能

「兵庫県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画」に基づき整備される、兵庫県立丹波医療センター（仮称）として統合再編。

③ その他見直すべき点

特になし

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2018年度で閉院)
高度急性期	0	→	0
急性期	99		36
回復期	0		23
慢性期	0		0
(合計)	99		59

※兵庫県立丹波医療センター（仮称）へ機能を移転して閉院

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	兵庫県立柏原病院と柏原赤十字病院の統合再編基本計画の推進、新施設整備推進への参画	圏域における中核的な医療救急体制の整備（統合新病院の整備）	
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ・段階的に2病棟体制(99床)を1病棟体制(59床)にし、統合新施設が完成する年度末で閉院。 ・統合再編の新施設へ引き継ぐ機能を維持しつつ、県立病院や地域の医療機関との連携を推進しながら患者の受入と、閉院に向けた患者調整を行う。 	圏域における中核的な医療救急体制の整備（統合新病院の整備）	
2019～2020年度			
2021～2023年度			

第7次医療計画

第8期介護保険事業計画

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	平成30年度末で廃止（閉院） 平成31年上期にオープンする新施設に統合

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率：
- ・ 手術室稼働率：
- ・ 紹介率：
- ・ 逆紹介率：

経営に関する項目*

- ・ 人件費率：
- ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：

その他：

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

（自由記載）